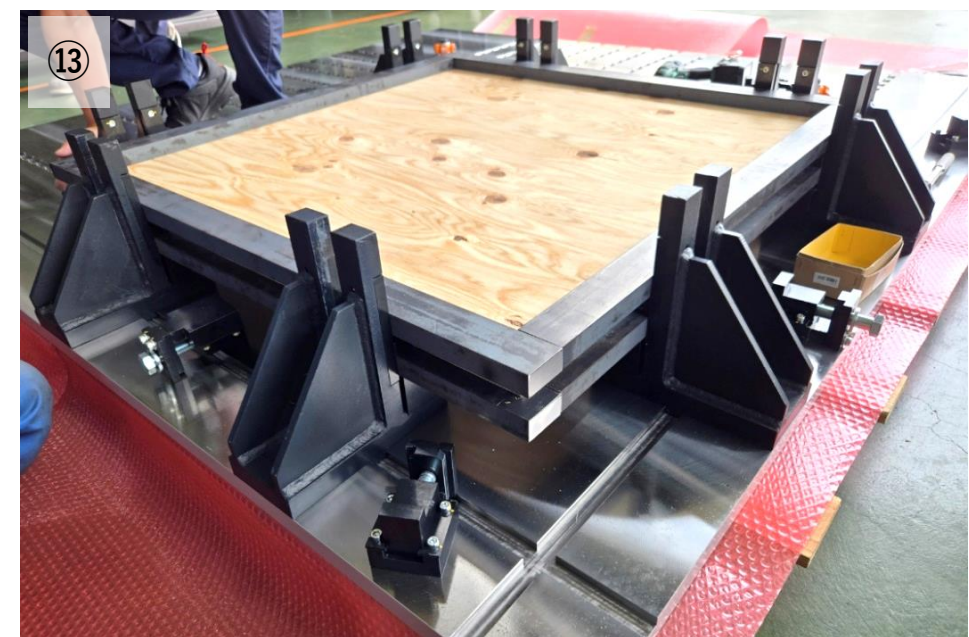
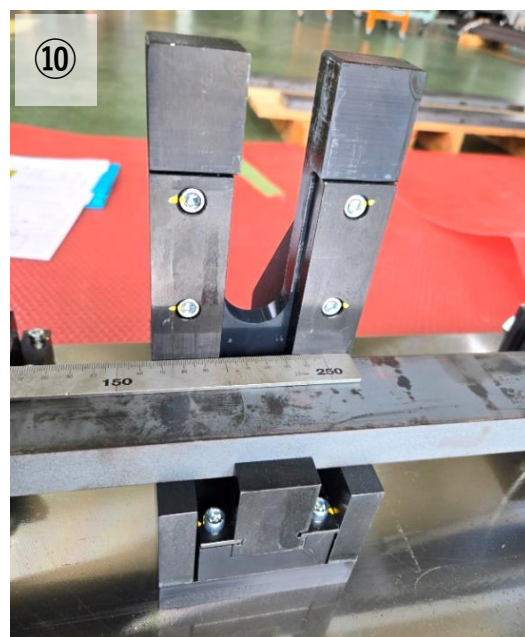
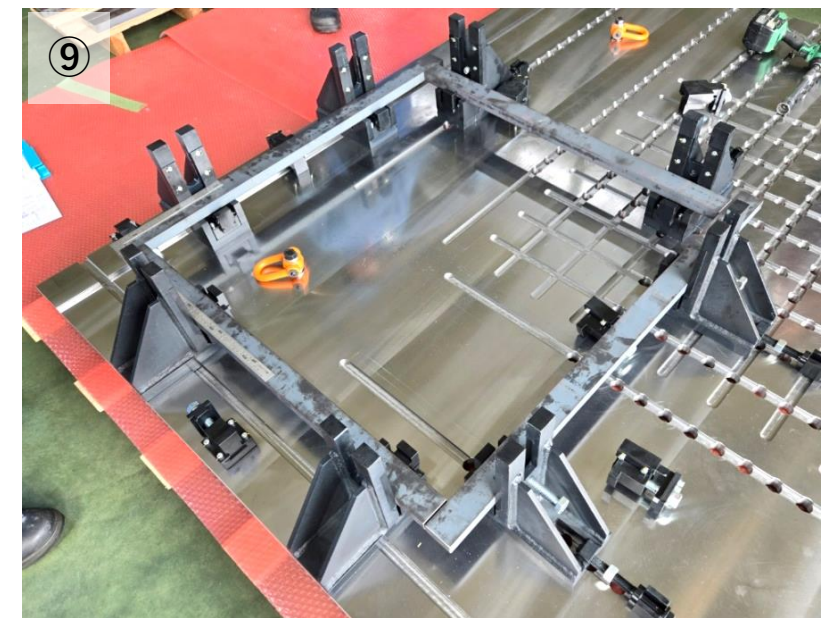
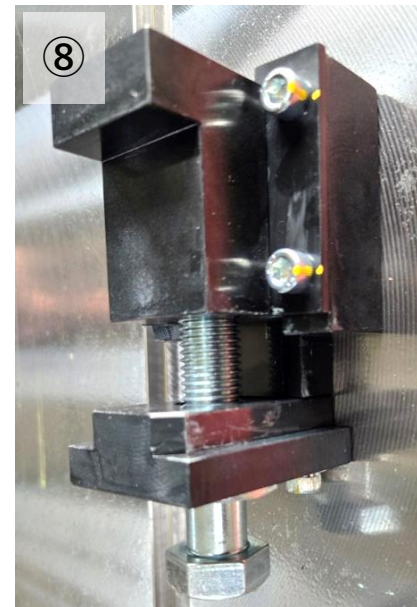
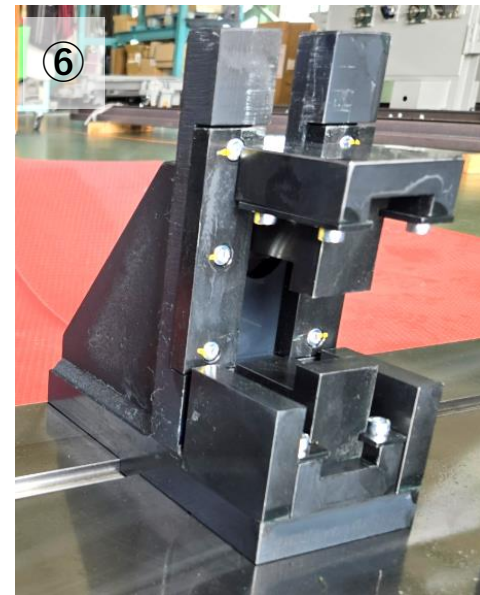
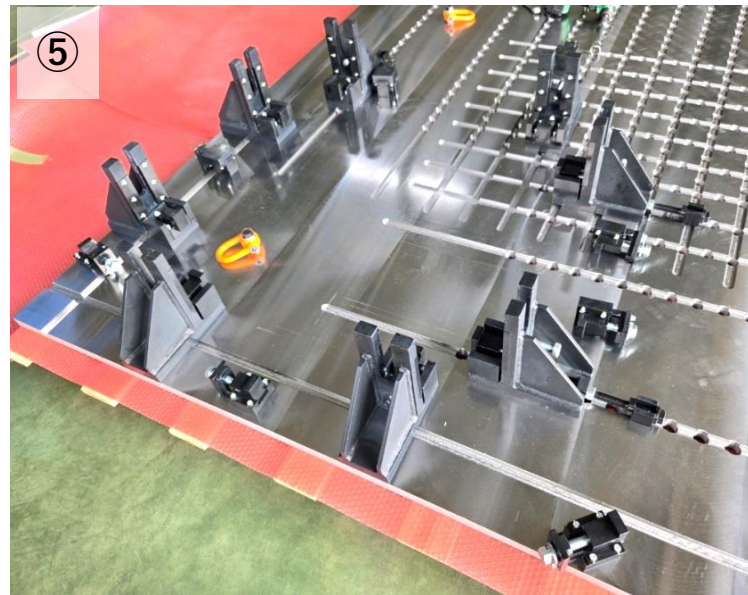
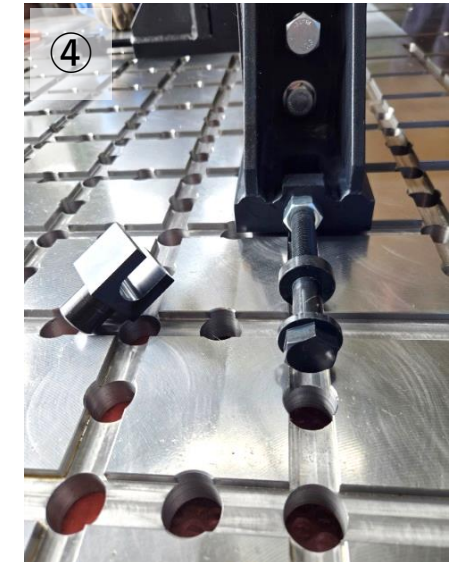
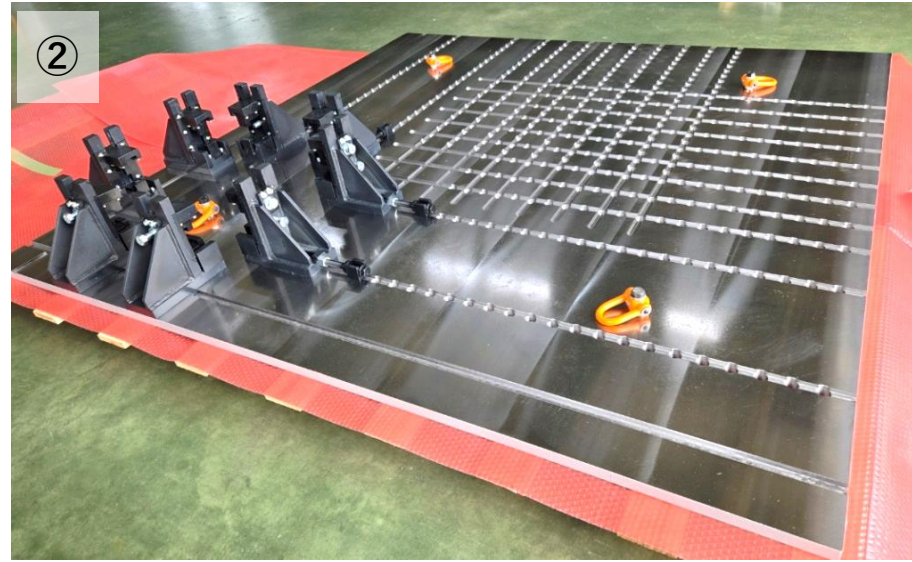
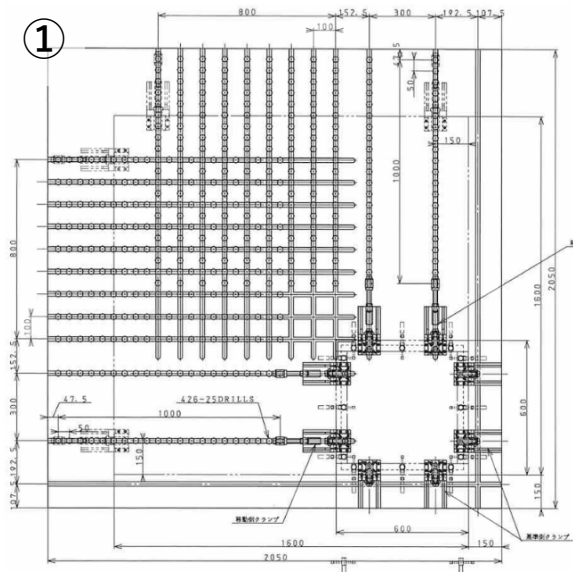
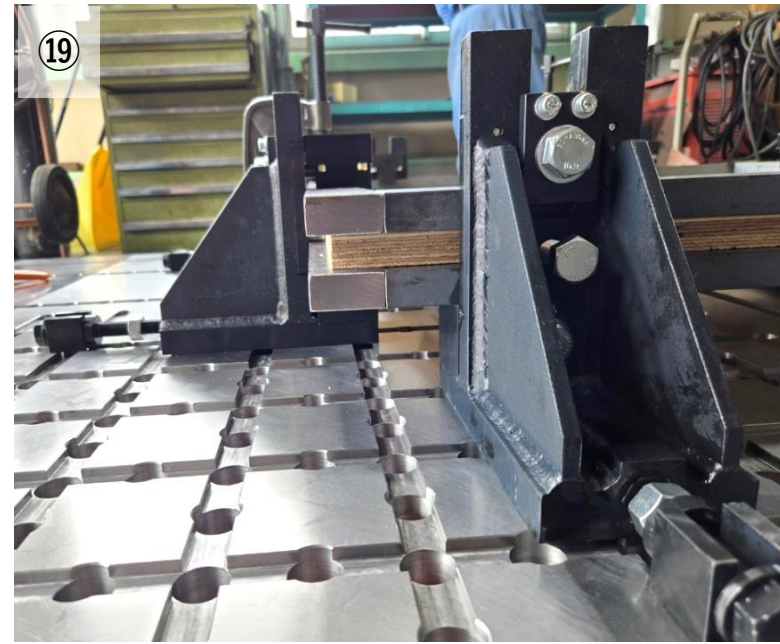
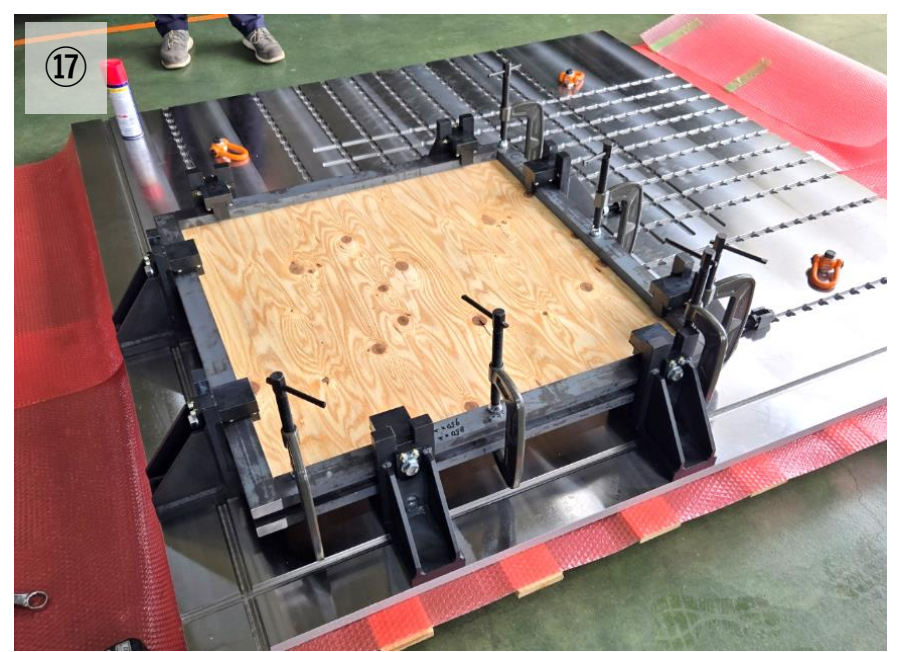
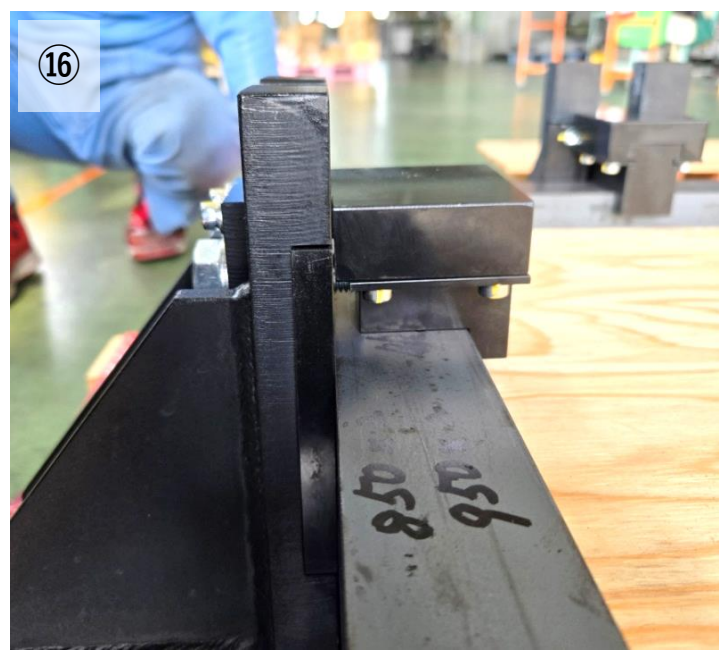
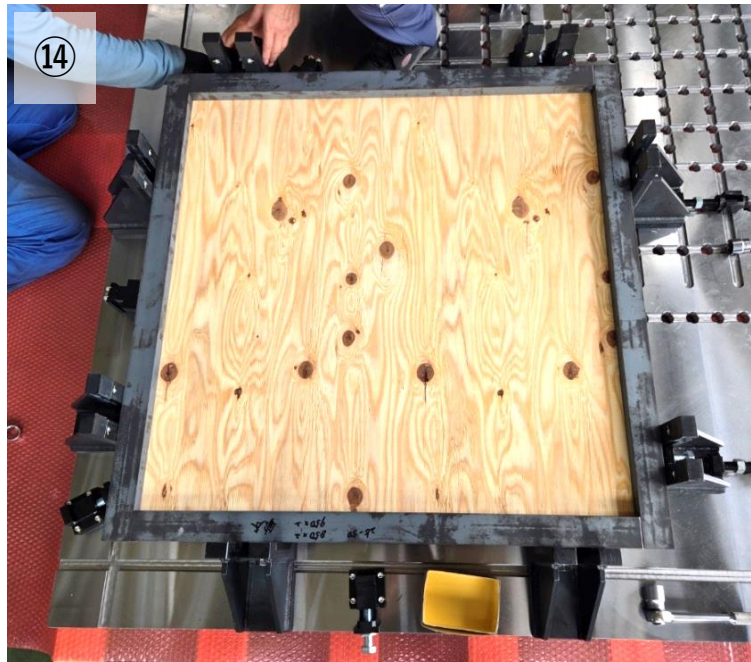


【紹介資料】 BOX柱向け内ダイヤ仮組治具

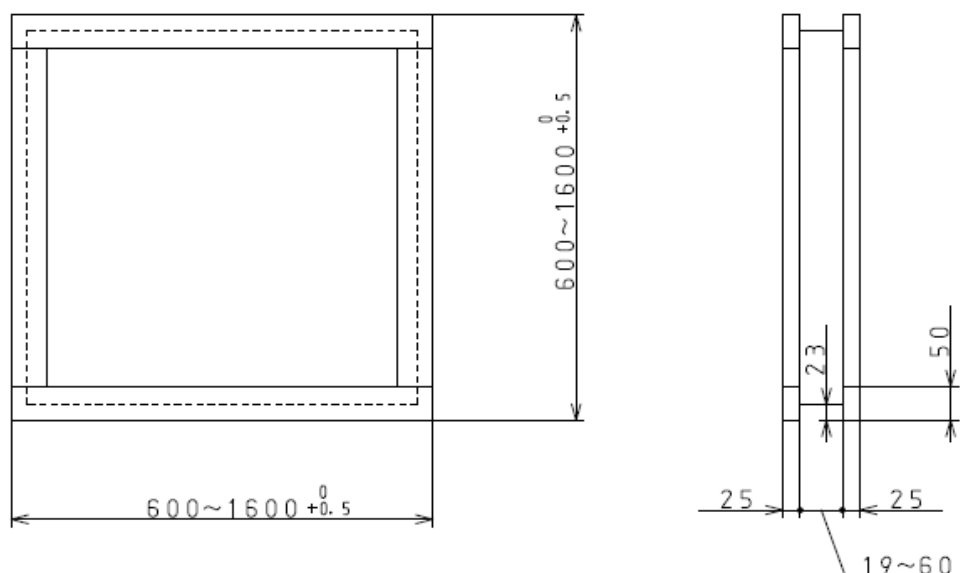




内ダイヤ仮組治具見積仕様書

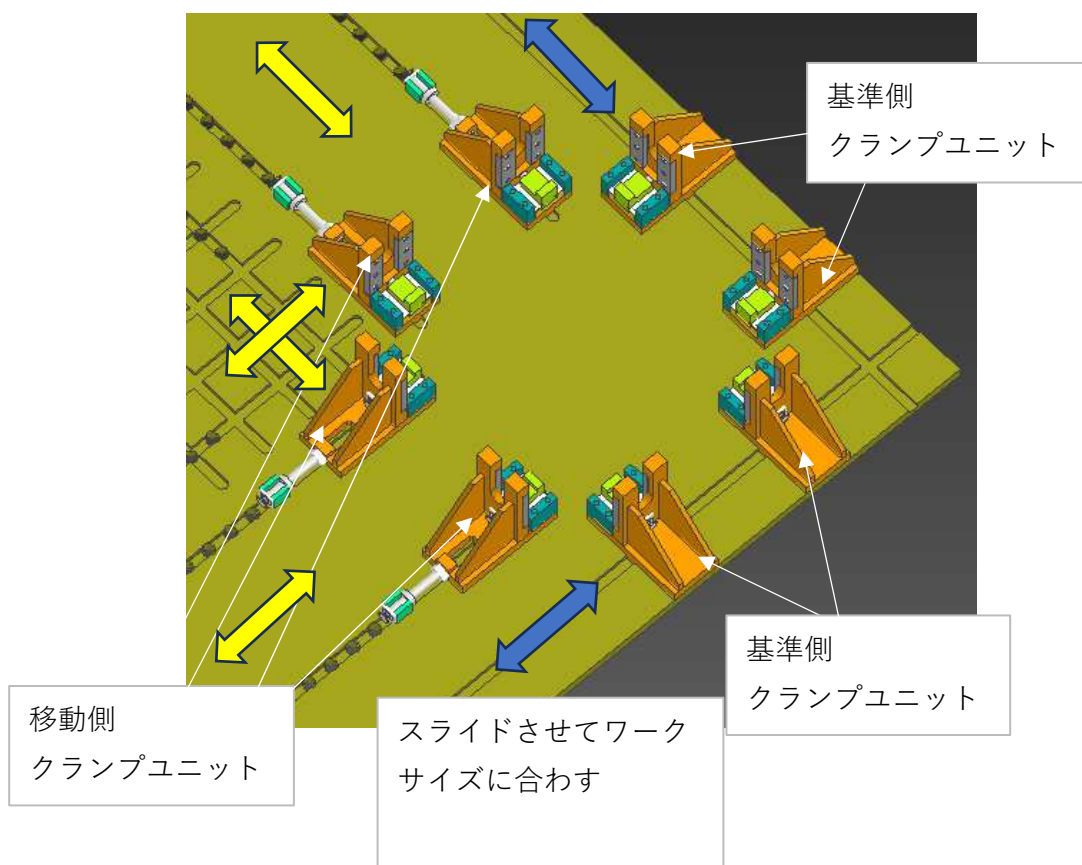
本治具はSESNET用裏当て金とダイヤフラムを仮組するための治具です。

1. ダイヤフラム寸法



2. ワーククランプ方法

1. 基準側クランプユニットは横方向にワークサイズに合わせてスライドで位置決め

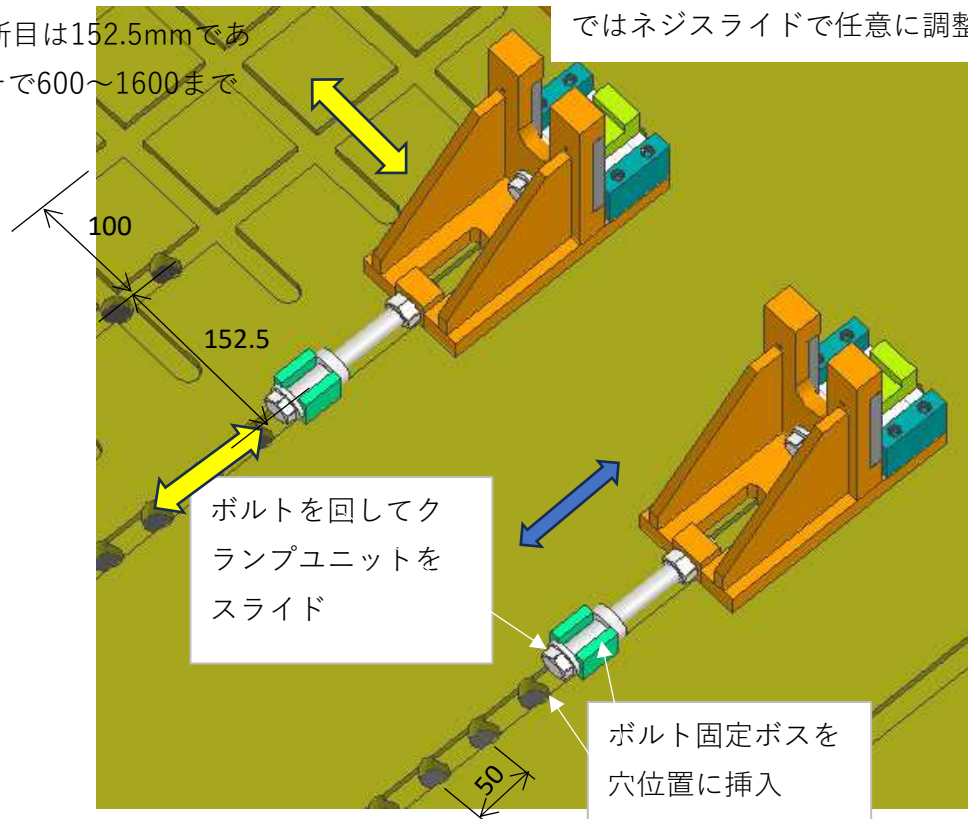


2. 移動側クランプユニットはボルト固定ボスをワークサイズの位置に合う穴に差し込んでボルトをアジャストして、クランプユニットの位置をワーク寸法に合わせる。

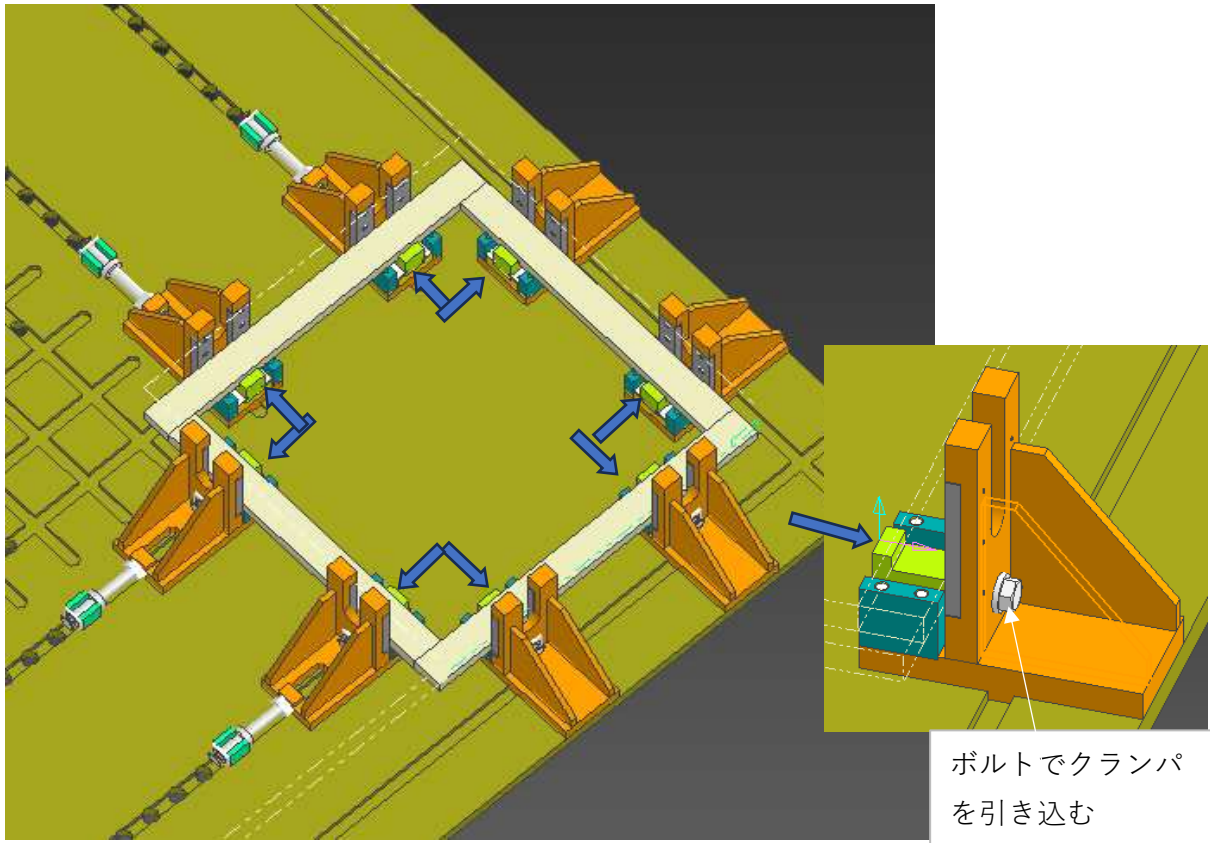
横移動はキー溝に合わせて行う。

穴ピッチは50mmで600～1600まではネジスライドで任意に調整

キー溝ピッチは1断目は152.5mmであ
とは100mmピッチで600～1600まで
配置可能

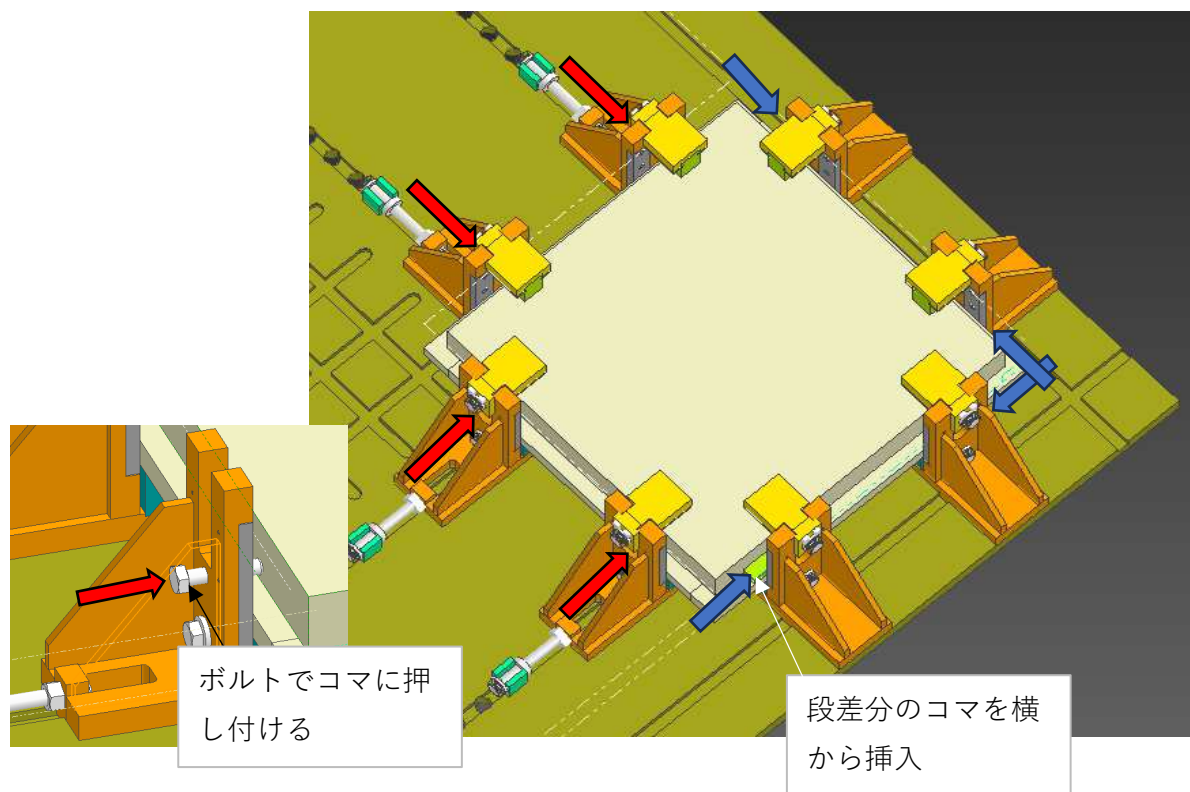


3. 裏当て金を治具にセット



4. ダイアフラムをセット

裏当て金とダイアフラムの段差（スキマ）の基準側にコマを横から挿入し、移動側からボルトで押し当てる



5. 裏当て金をセット

当て金をセット後、上から引き込みクランプユニットを挿入して、ボルトで当て金を引き込む。

